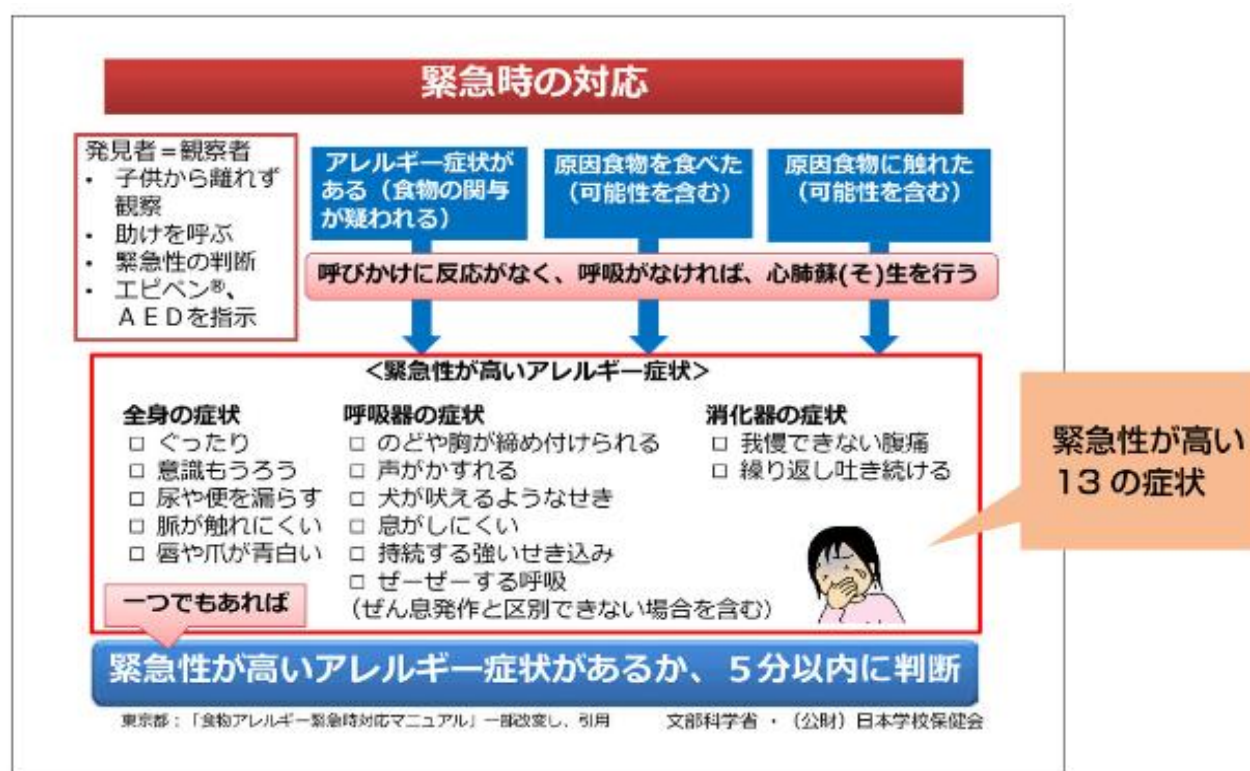


## 5-2 緊急時対応のながれ

緊急時対応のながれは、事前に教職員、保護者、主治医が十分な協議を行ったうえで、決定することが重要です。

緊急性の高いアレルギー症状があるかどうかの判断を5分以内に行います。緊急性の高いアレルギー症状は下図の13の症状です。いずれかのうち1つでも症状があれば、緊急性の高いアレルギー症状があると判断します。また、エピペンの所持者には、エピペンを注射するタイミングでもあります。13の症状が記載されたマニュアルを職員室や教室等に常備するようにし、緊急時には迅速に判断できるようにしましょう。



(引用「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」公財)日本学校保健会)

緊急性の高いアレルギー症状があると判断した場合には、以下の3点の対応を必ず行うようにします。

- ① ただちにエピペンを使用する。
- ② 救急車を要請する。
- ③ 症状が進行しないように、その場で安静にする。

また、その場で安静にする場合の体位の基本は、血圧低下への対応として、仰向けに寝かせて足を高くします。また、ショック状態である児童生徒を抱き起こしたり、おんぶしたり、起き上がらせたりすると、心停止を誘発する可能性があります。ショック状態またはそれに

準ずる状態の場合、絶対に体位変換をしないで、その場で安静にすることが重要です。

緊急性の高いアレルギー症状がない場合でも、保健室または安静にできる場所に移動する場合、移動中に状態が悪化する危険性があることを認識し、担架で水平移動も考慮しましょう。

### 緊急性の高いアレルギー症状への対応

**チームワークが大切**

- ・ 救急車を要請（119番通報）
- ・ ただちにエピペン®を使用
- ・ 反応がなく呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う ➡ AEDの使用
- ・ その場で安静にする **立たせたり、歩かせたりしない！**

#### <安静を保つ体位>

ぐったり、 意識もうろうの場合	吐き気、おう吐がある場合	呼吸が苦しく あお向けになれない場合
		
血圧が低下している可能性 があるため、あお向けで足 を15～30cm高くする	おう吐物による窒息を防 ぐため、体と顔を横に向 ける	呼吸を楽にするため、 上半身を起こし後によ りかからせる

- ・ その場で救急隊を待つ

文部科学省・（公財）日本学校保健会  
東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

また、以下の対応（例）は厳禁です。適切な対応を行えるようにすることが重要です。

#### 【対応（例）】

- ① 対応を後回しにする。
- ② 児童生徒に対応の方法を決定させる。
- ③ 児童生徒を1人にする。
- ④ 児童生徒を立たせる。
- ⑤ エピペンを必要とする症状があるのに、エピペンを打つことをためらう。